

2011日高地本女性セミナー開催

「一歩踏みだす!」「自分で実感する!」
って大切!



「男女がともに担うってムスカシイこと?」と題して実体験を基に講演していただきました。自治労北海道本部大出書記長

秋晴れの10月1日、昨年に引き続き日高地本女性セミナーを開催しました。講座Ⅰは、道本部大出書記長に「男女がともに担うってムスカシイこと?」というテーマで講演しました。現在は男性だ、女性だと分けることもあまりなくなり、男女差別は実感としてはあまりないかもしれないが、男女差別は確実にある。男は外で稼ぎ女は家庭を守るといった、遠い過去からの刷り込みが根本にあり、今があるのは先輩たちが刷り込みを直してきた運動の成果である。男性の意識改革も必要だが、女性の「受け身の野心」、一歩踏み出してみる、チャレンジしてみることが大切であり、自分の目で見て聞いてふれて感じてみる。そこで、きっと新たな気づきがあるはずと機関会議への参加も勧めていました。男女がともに担うのは確かに難しいけれど運動は続けていかなければならない。

女性運動も基本組織ですべてできれば問題はないが、そこだけではできない。だから女性組織も存在し、そこでの運動が必要になってくると、自身の運動経験も交えながら話してください、見えない差別（または困っていること）はないか、権利はあっても使えない状況はないか、職場の仲間たちと集まり話す、仲間をつくり、自分たちの手でできることを役割分担しながら行っていく大切さを強調しました。



日頃の疲れを「疲労解消ストレッチ」で癒しました。指導は日本水泳振興会 宮川哲也さん

講座Ⅱ「疲労解消ストレッチ」を日本水泳振興会宮川哲也さんから学びました。この動かせばこの筋肉が緩み、この疲れに効くといったからだの組織や筋肉の造り、機能などの説明を交えながら講座は進められ、参加者は「なるほど」「へえ〜」を連発しながら実技を行っていました。ただ言われるままに体を動かすより分かりやすかった、体が軽くなった、簡単なのでやってみよう!

「2011女性セミナー」アンケート結果

問) 組合、女性運動について、どう感じていますか?

- ・まだよくわからないけれど、女の人が多くて楽しい。
 - ・難しさを感じる。自分が社会人になった時には、かつてより大分環境が良くなっていたと思うので感謝しています。
 - ・正直いまいよくわかりません。まだまだこれからだと思います。
 - ・まだまだ女性の仕事とされる場所が多いので、意識改革、運動をしっかりやっていきたい。
 - ・女性だけの交流の場があったらいいというのは賛成です。
 - ・女性の課題を話す場が必要だと感じています。女性だけでもですが、男性とも一緒にそれができるのは組合活動だと思っています。男性と女性一緒に活動していける仕組みが大切だと感じています。
 - ・必要だと思い、役員の方には感謝しています。が、自分ごととなるとやっぱり難しいです。
- 他にもたくさんの意見など寄せられました。

といった声が上がっていました。これもまずはやってみることが大切のようです。地本内では女性が顔を合わせる機会はなく、初めてこういった集まりに参加した方もいました。他単組の仲間と運動の意義も含め学びを共用する貴重な時間となりました。また、組合運動や日頃の業務、健康づくりにおいてもまずは「やってみる」ことが第一歩であると改めて感じていました。女性セミナーは昨年4年ぶりに開催され、今年で2年続けての開催となりました。今後も、単組間の意見交換を行う場として貴重な機会であると思いますので継続的に実施し、各単組組合員が気軽に参加できるように企画を考えていきたいと思っておりますので来年度以降も皆さんの協力をお願いします。

さようなら原発
1000人アクション



署名行動の最終集約日は、12月16日となっています。各単組におかれましては、最大限の取り組みをお願いします。